



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2006, 85(6): 904-906

ISSUE DATE:

2006-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110406>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成18年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第85巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.85 no.6

物性研究

2006 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

最近、予算削減の影響で学術雑誌の購読が大変難しくなっていることは良く知られている。筆者も日本の大学で、有力な雑誌の購読を打ち切ったと言う話をよく聞くようになった。その結果、図書の開架室で新着雑誌を同僚と議論する風情は過去のものになり、代りに自室でスクリーンとにらめっこするようになった。

学術雑誌を出版する会社が、M&A を繰り返し、市場を寡占するようになったため、購読料の設定が少数の会社に握られ高騰したことが発端らしい。経済原理としては自然な結果だが、我々は大変困る。これに対抗するため、研究者サイドからの自衛策が世界各地で行われている。

特に外国では状況がかなり進んでいるように思える。以下は1ユーザーの、主に数理学系雑誌についての経験と雑感である。筆者はこの方面の専門家ではないので、運動の経緯や解釈については誤解している点があるかも知れない。その場合は御容赦願いたい。

フランスには <http://math-doc.ujf-grenoble.fr> というポータル（玄関）があり、数学／数理学論文の検索エンジンとして有名な MathSciNet や Zentralblatt へリンクしている。これらは論文のレビューを独立に行っている。

また、同じくリンクされているサイトとして <http://www.numdam.org> がある。NUMDAM とは numérisation de documents anciens mathématiques であって、numérisation とは digitization を意味し、anciens とはいうが雑誌によっては最近のものも含まれていて、無償で利用できる。圧巻は、歴史上著名な数学者／科学者の全集で、膨大な文献がネット上で無償で公開されている。

<http://math-doc.ujf-grenoble.fr/OEUVRES/>

これらの背景にはフランス文化を広めていきたいという動機があるのだろうが、利用者にとっては極めて便利なことに違いない。

アメリカでは、コーネル大学図書館が中心に運営する学術雑誌のアーカイブ <http://projecteuclid.org> があり、日本でも参加・協力をしている大学も多い。また、生命科学系では NIH の Pub MED <http://www.pubmedcentral.nih.gov/> が有名である。商用系雑誌の関係者たちは、大いなる関心を持ってこれらを見守っている。

イギリスの運動は、数年前に提出された "Scientific Publications: Free for All?" という、ややセンセーショナルな報告が出発点のようだ。全文が

<http://www.publications.parliament.uk/pa/cm200304/cmselect/cmsctech/399/399.pdf>

に、抄録は <http://www.eldis.org/static/DOC15338.htm> などに見られる。

最近の日本における運動については、数理解析研究所講究録 1463 “紀要の電子化と周辺の話題” (2006 年) などを御覧いただきたい。

このような道具は、出版の素人がプロに対抗出来るということもあり、便利さばかりが目につくが、素人なりに気になることもある。例えば、アーカイブの保存方法に、統一性があまりない現状では読者のみなさんも文献検索に G*Scholar や G*Book を使われている事と思う。(特に後者は、OCR 読み取りの結果、単語検索が全ページ可能なので重宝する。) しかし、これらのツールが今後も無償で利用できるとの保証はない。そもそも、インターネットさえ現状の運営が続くと仮定する根拠はあるのだろうか。節約のため紙媒体を切り捨てることに奔走する現在の流れは、図書館の風景を変えたこと以上に基本的なリスクを背負っている気がしてならない。

(cardamom)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (パリ第7大学・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

に、抄録は <http://www.eldis.org/static/DOC15338.htm> などに見られる。

最近の日本における運動については、数理解析研究所講究録 1463 “紀要の電子化と周辺の話” (2006 年) などを御覧いただきたい。

このような道具は、出版の素人がプロに対抗出来るということもあり、便利さばかりが目につくが、素人なりに気になることもある。例えば、アーカイブの保存方法に、統一性があまりない現状では読者のみなさんも文献検索に G*Scholar や G*Book を使われている事と思う。(特に後者は、OCR 読み取りの結果、単語検索が全ページ可能なので重宝する。) しかし、これらのツールが今後も無償で利用できるとの保証はない。そもそも、インターネットさえ現状の運営が続くと仮定する根拠はあるのだろうか。節約のため紙媒体を切り捨てることに奔走する現在の流れは、図書館の風景を変えたこと以上に基本的なリスクを背負っている気がしてならない。

(cardamom)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (パリ第7大学・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 85 卷第 6 号 (平成 18 年 3 月号) 2006 年 3 月 20 日 発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	ショウワドウ・イープレス 株式会社 田村 徹	〒606-8225	京都市左京区百万遍交差点上ル東側
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年 額 19,200 円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **01010-6-5312**

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 85-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

「第50回 物性若手夏の学校 (2005年度)」 725

○編集後記..... 904

○目 録 (Vol. 84, 85)..... 907

物 性 研 究 85-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

「第50回 物性若手夏の学校 (2005年度)」 725

○編集後記..... 904

○目 録 (Vol. 84, 85)..... 907